

白子小学校保護者 様

## 令和6年度 和光市立白子小学校 学力・学習状況調査結果について

5月に実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）及び埼玉県学力・学習状況調査（4・5・6年対象）について本校の結果概要をとりまとめましたのでお知らせします。今後も、以下の分析結果をもとに日々の授業づくりを見直し、児童の更なる学力向上に努めてまいります。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 1 分析結果概要

本調査項目は多岐に渡るため、本校が近年特に重視している以下の項目の分析結果について報告致します。

#### ① 学力の伸び方※5・6年生のみ

児童一人一人の学力が昨年度の調査時からどれくらい伸びているか。

#### ② 「主体的に学んでいる」度

「他者に与えられた問題を解決していく学び」ではなく、事象や事柄について子ども達自身が「どうしてだろう?」「考えてみたい!」という問題意識をもち、解決していく学びの度合い。

#### ③ 「対話的に学んでいる」度

「他者に教えられて理解する学び」ではなく、既習事項をもとに他者との対話を重ね、地道に納得した解答をつくり上げていく学びの度合い。

#### ④ 「深く学んでいる」度

「知識や解法を覚える学び」ではなく、物事を多様な視点や関係の中で捉えたり、感覚的に理解していた事柄をより深く認識したりする学びの度合い。

#### ⑤ 「タブレットの効果的な活用」

児童の学習において、タブレットの効果的な活用を意識した授業づくりを進めるとともに、児童がタブレットの良し悪しを認識し、活動の手段としてタブレットを選択しているか。

#### (1) 「学力の伸び」について

- ・国語・算数とも多くの児童が着実にレベルアップしており、県平均・市平均と比べても同等の伸びが見られました。
- ・国語においては、「読むこと」の領域、算数については、「データの活用」の領域に課題が見られました。この領域の学力の定着が図れば、更なる学力の伸びに繋がると考えられます。

#### (2) 「学力の伸び」と「本校の重視している①主体的～②対話的～③深く～」との関連について

≪5・6年生≫

- ・主体的に学んでいる子ほど、学力の伸びが大きい。
- ・対話的に学んでいる子ほど、学力の伸びが大きい。
- ・深く学ぶことを大切にしている子ほど、学力の伸びが大きい。

≪4～6年生≫

- ・主体的に学んでいる子ほど、対話的に学ぶことができている。

- ・対話的に学んでいる子ほど、深く学ぼうとする意識が高い。
- ・深く学ぼうとしている子ほど、主体的に学ぶことができている。

### (3) 「タブレットの効果的な活用」との関連

- ・5・6年生共に、「タブレットの活用」と「学力の伸び」に、深い関係性は見られなかった。ただし、自分の思いや考えを伝える際、タブレットを活用して分かりやすく説明することできるようになった児童が増えた。また、タブレットの良し悪しを児童が理解しつつあり、どんな場面・状況で使うことが自分にとって有効的かを考え、主体的に課題に取り組む姿が見られるようになった。
- ・今年度より埼玉県学力学習状況調査の問題が、全てタブレットを活用して取り組む問題へと変更になった。しかし、普段からタブレットを活用していることで、困ることなくテストを受験できている。また、見直しをした回数を見ても、紙で取り組むテストの時よりも多くなり、タブレットで行う意義を児童が感じていた様子が見られた。

## 2 分析結果を受けて

### (1) 学校における取組

#### ①授業について

今後も引き続き、「子どもたちが、問題意識を高め、既習事項をもとに思考・判断し、対話を重ねながら課題を解決していく授業」を、追究・実践して参ります。具体的には、「課題や振り返り、まとめを子ども自身の言葉で言語化させる授業」「子どものつぶやきや気づきを拾い、それを教師が価値づけたり、子ども同士で共有させたりする授業」などの実践を行い、学力の向上を進めていきます。

#### ②児童用タブレットの活用について

令和4年度より本校では「主体的な学びにおけるICT活用の在り方」について研究しております。全国的に児童用タブレットの活用が始まって数年たち、効果的な実践事例や活用におけるポイントが徐々に明らかになってきています。児童用タブレットをどのように活用することが学力の伸びにつながるのか、白子小の子どもたちの実態と向き合いながら、よりよい活用方法を今後も模索し続けて参ります。

### (2) 家庭でお願いしたいこと

ご家庭で学習について子どもにから質問された際は、やり方や正解を教えるのではなく、「どこまでならできそう？」等と問いかけながら、ぜひ隣で一緒に考えてあげてください。もしご家庭で時間をとるのが難しい場合は、「明日先生に質問しておいで」と促してあげてください。そして帰宅後に説明を聞き、説明ができるようになったことをたくさん褒めてあげてください。

適切な援助要請ができるように促すことや、「自分がどこまで理解しているのか」を認識すること、「対話の中で既習事項を振り返りながら考えていく経験」等は、学力を伸ばすためには一見時間もかかり非効率的と思われがちです。しかし、中長期的にみるとこのような経験こそが、学力を高める上でとても重要なプロセスになります。お子様の疑問や思考に、ご家庭と共に寄り添って参りたいと思います。

今後も、以上の分析結果をもとに日々の教育活動を見直し、児童の更なる学力向上に努めてまいります。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

